

◆日根野聖子 選

小西昭夫先生の、俳句とコメントの作品「チンピラ」シリーズの第八弾です。小西先生は、毎年五月に、俳句とアートの作品展「遊五人展」を開催され、会期中の朗読会では「チンピラ」の新作を披露されます。今回は、五人展を企画された初期の頃のメンバーも久しぶりにアートを出品され、新型コロナのために去年は中止となった朗読会も再開されて、盛会となりました。

「チンピラⅧ」

小西昭夫

蛇穴を出るわたくしは蒲団出る

春眠暁を覚えずと申しますが、もう啓蟄です。

おそるべき君らの乳房四月馬鹿

西東三鬼に「おそるべき君らの乳房夏来る」という句があります。

日本酒は冷やと決めたり初鯉

山口素堂には「目には青葉山ほととぎす初鯉」という有名な句があります。

妻は絹われは木綿の冷奴

ぼくは豆腐が好きであります。安上りの人間です。

日活のロマンポルノや昭和の日

令和も四年、今や昭和も遠くなりました。

デザートは苺プリンかキャラメルか

本当はどちらも食べたいのです。

血糖値たかしビールをやめようか

血液検査をするといつも思うのですが、なかなか実行できません。

見るだけで幸せになるさくらんぼ

この句は共感してもらえるかと。

梅雨晴れ間始末に困る猫の糞

猫好きの方も多いと思うのですがわが家の庭です。

芙蓉咲く昼には酔っていたりけり

真白な芙蓉の花は午前中にはピンク色になります。芙蓉の花とシンクロしました。

一二三四五六七八蟬の穴

庭を見ていると意外に多いのです。

空蟬の一二三四五六七

それで、庭を探してみました。

空蟬の背にファスナーのあらまほし

そして、空蟬を見るといつも思うのです。

太陽はまだ本気なり秋暑し

「秋暑し」というのは残暑のことです。近年の残暑には閉口します。

えのころと呼ぶか猫じゃらしと呼ぶか

同じ草なのですが、呼び名が違います。「えのころ」は犬のことです。

秋茄子は嫁が食わせてくれにけり

「秋茄子は嫁に食わすな」といわれますが……。

河豚鍋のメに残しておく余力

今夜は河豚のフルコース。河豚雑炊は最高です。

明日妻は出かけるらしきおでん鍋

献立で妻の行動が分かります。

敬老を祝われる日の来ようとは

まさに「光陰矢の如し」であります。

甘口も辛口もよし新走り

「新走り」は新酒のことです。酒は百薬の長であります。

雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズ野菊咲ク

宮沢賢治へのオマージュです。

ぎんなんの薄皮むいているところ

ぎんなんご飯は好きなのですが、準備が大変です。

八百万の神の一つがクリスマス

日本人は何でも神様にするので日本にはたくさんの神様がいます。

代官も越後屋も来る初笑い

「越後屋、おぬしもわるじゃのう」「お代官様こそ」ヒツツヒツツヒツツヒツツ。

連発の嚏鼻毛を切りしあと

くしゃみが止まらなくなりました。

春一番二番三番以下省略

俳句で大切なのは「省略」であります。

春はあけぼの何を作ろう朝ごはん

妻の留守であります。清少納言の気持ちであります。

チンピラが一人で食べる朝ごはん

結論でございます。